

令和3年度健康科学研究所外部評価委員会【事前評価】

個票 No.	研究課題名	評価 結果	コ メ ン ト
1	LC-MS/MS を用いた自然毒成分の検査方法の確立	採択	<p><b>【評価の結論に至った理由・考え方】</b></p> <p>① 急性毒性を伴う自然毒による食中毒は迅速な対応が求められ、その検査法の確立は極めて有用である。</p> <p>② 個々の物質では、カバー出来る研究機関もあるが、総合的に代替できる機関は少ない。</p> <p>③ LC-MS/MSは微量分析が可能であることから、原因究明及び迅速な処置に多大の貢献が期待できる。</p> <hr/> <p><b>【提案機関へのアドバイス】</b></p> <p>① 自然毒の有毒成分は多様なことから、LC-TOFMSの活用も期待する。</p>

令和3年度健康科学研究所外部評価委員会【事後評価】

個票 No.	研究課題名	評価 結果	コ メ ン ト
2	胃腸炎ウイルスの遺伝子解析法及び迅速検査法の確立に関する研究	—	<p><b>【評価の結論に至った理由・考え方】</b></p> <p>①効率的な遺伝子解析は多様な胃腸炎ウイルスの迅速、効率的な検出に極めて有用であり、情報提供に多大の貢献が認められる。</p> <p>②マルチプレックスリアルPCR法による同時検査法の確立は、病原体検索に活用され、その成果は顕著である。</p> <hr/> <p><b>【提案機関へのアドバイス】</b></p> <p>①確立した方法を今後の対策に活かせるように進めていただきたい。</p>
3	ウイルス性発疹症の病原体解析と迅速検査法の確立に関する研究	—	<p><b>【評価の結論に至った理由・考え方】</b></p> <p>①遺伝子配列の国際塩基配列データベースへの登録及び検体採取の時期、方法に有力な情報を提供するなど、その成果は顕著である。</p> <p>②マルチプレックスリアルPCR法による発疹性ウイルスの同時検査法の確立は迅速な情報提供に極めて有効である。</p> <hr/> <p><b>【提案機関へのアドバイス】</b></p> <p>①年代別の解析や流行についての結果を発信していくことは感染症対策に重要である。</p>